



6月26日の扶桑町新規採用職員研修（男女共同参画研修）の参加者の感想の一部です。

【男女共同参画について】

「今までは男女共同参画社会は、「男性」「女性」のこのみを言っているものだと思っていたけれど、すべての人のことを指していると思って、改めて全ての人々が幸せだと感じられる社会にしていくことが大切なのだと感じました。」

「男だから女だからといって何事も決めつけることは良くないと思いました。ジェンダーフリーの考え方が、さらに世の中で広がっていくと良いと思います。」

【妊婦体験より】

「保育園で働く中で、妊婦のお母さんと関わることもあり、貴重な経験になった。ただお腹に重いものがあり、腰に負担がかかったり、下が見えなかったりして大変というだけでなく、そのお腹の中にいるのは赤ちゃんだと思うと、動き一つ一つが慎重になった。」



【高齢者疑似体験より】



「高齢者の方が、どれほど動くのが大変なのか、生活をするのが大変なのかを、小さな動きから感じることができた。自分が見えている、聞こえている、簡単にできることが、高齢者の方はしたくても難しくできないことがあると知った。」



「体全体に重みを感じ、一つ一つの動作が普段過ぎているときよりも、とても難しく感じました。窓口に来る高齢の住民の方々、家族には、今以上に優しく接しようと思いました。」

【男女共同参画社会を実現するために何が必要か】



「普通に生活をしていると、すべての人の人権が認められた社会だということ意識せずに過ごしているため、このようなことを考える時間を少しでも作る必要があります。また、一人ひとりが男性だから、女性だから、という考え方を無くして、一人の人としてお互いの意見を大切にしていって必要があると思いました。」

「知る」「感じる」そして「考える」が次の行動を生み出していきます。頼もしいですねえ。

毎回、身近な出来事を取り上げ、皆さんとともに考えていきますので、ご意見やご感想をお寄せください。

今月号の表紙

絵の題 「校庭」



山名小学校 6年  
しばた あかり  
柴田 朱理さん

私が3本のくすの木をかいた理由は、山名小学校に初めて来た時、自分の背をはるかに超えているくすの木に圧倒されたからです。

特に絵をかいてゆく中で工夫した場所は、やはり3本のくすの木です。一色の緑でベタ～とぬるのではなく、たくさんの緑をつくり、ポンポンと筆をおくようにぬってくすの木の色あざやかな緑を表現しました。

各公共施設のおやすみ		
役場 ☎ (93) 1111	土曜日・日曜日・祝日	
保健センター ☎ (93) 8300	土曜日・日曜日・祝日	
総合福祉センター ☎ (91) 1151	月曜日	
総合体育館 ☎ (93) 2441	火曜日	
扶桑文化会館 ☎ (93) 9000	月曜日（祝日は除く）・火曜日	
中央公民館 ☎ (93) 7211	火曜日	
図書館 ☎ (93) 8630	火曜日・第3水曜日	
学習等供用施設	月曜日・祝日	

◆扶桑町内主な犯罪発生状況（暫定値）

	7月	1～7月
刑法犯総数	12件 (19件)	72件 (145件)
住宅対象侵入盗	1件 (3件)	4件 (21件)
車上ねらい	3件 (0件)	4件 (6件)
自転車盗	0件 (5件)	17件 (28件)

(昨年同期)

町の人口

(8月1日現在)

人口	34,778人 (+57)
男	17,340人 (+52)
女	17,438人 (+5)
世帯数	14,167世帯 (+37)

※( ) 前月比



スマホで広報紙

アプリで読むには

まずは左のQRコードからダウンロード！！

※通信料は利用者負担です。